

アジールネットワークス、C2DMに対応したAndroid向けクラウド電話サービス開始！

クラウドPBX[注1]サービス大手のアジールネットワークス株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役:篠田亘司)は、Androidのメッセージ通信技術、C2DMに対応したクラウド電話サービスを開始します。

C2DMとは、Androidのアプリケーション間通信メッセージ(インテント)をネットワークを介して送受信する技術で、googleを除き日本初、SIPphoneで使用するケースとして世界初だと思われま(当社調べ)。

C2DMに対応することにより、agileSIP2は着信待機のために、常時起動している必要が無く、Android端末の消費電力を大幅に抑えることができます。

[注1] クラウドPBX=IP電話とPBX(構内交換機)をインターネット越しにサービスとして提供します。

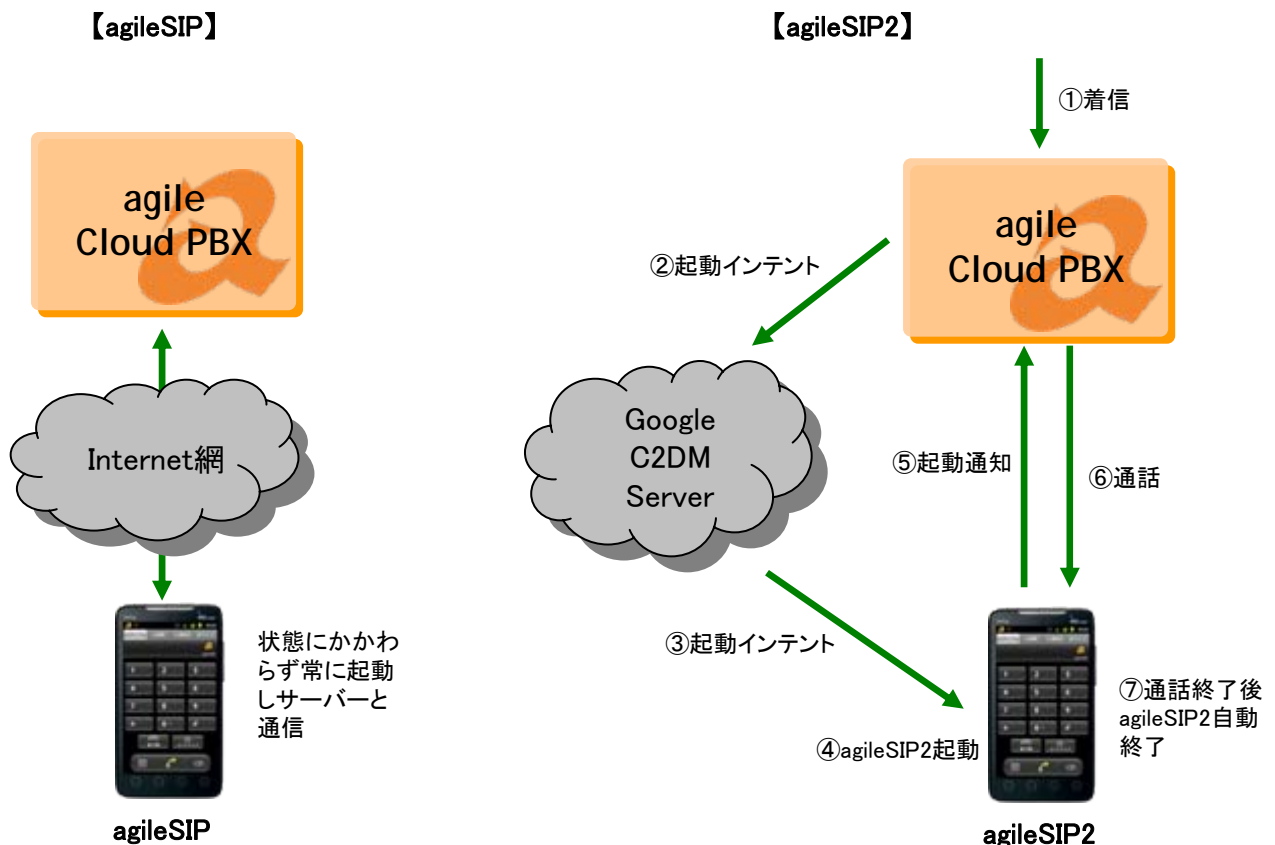
◆agileSIP2、2つの大きな特長

1. C2DM対応
2. 3G⇔Wifiのスムーズなハンドオーバー

1. C2DM(Cloud to Device Messaging)とは

従来のSIP Phoneは、着信を検知するため常に起動し、SIPサーバーとの間で、頻りにメッセージの交換を行っていたため、端末の電池の消耗が激しいという欠点がありました。

しかしC2DMを使用したagileSIP2では、クラウドPBXに着信(①)があると、クラウドPBXから起動メッセージ(②)が、Google C2DMサーバーを介して端末に到達し(③)、agileSIP2が起動(④)します。agileSIP2は起動通知(⑤)をクラウドPBXに送し、これを受けてクラウドPBXは通話(⑥)をagileSIP2へ接続します。通話が終了するとagileSIP2は自動的に終了(⑦)します。

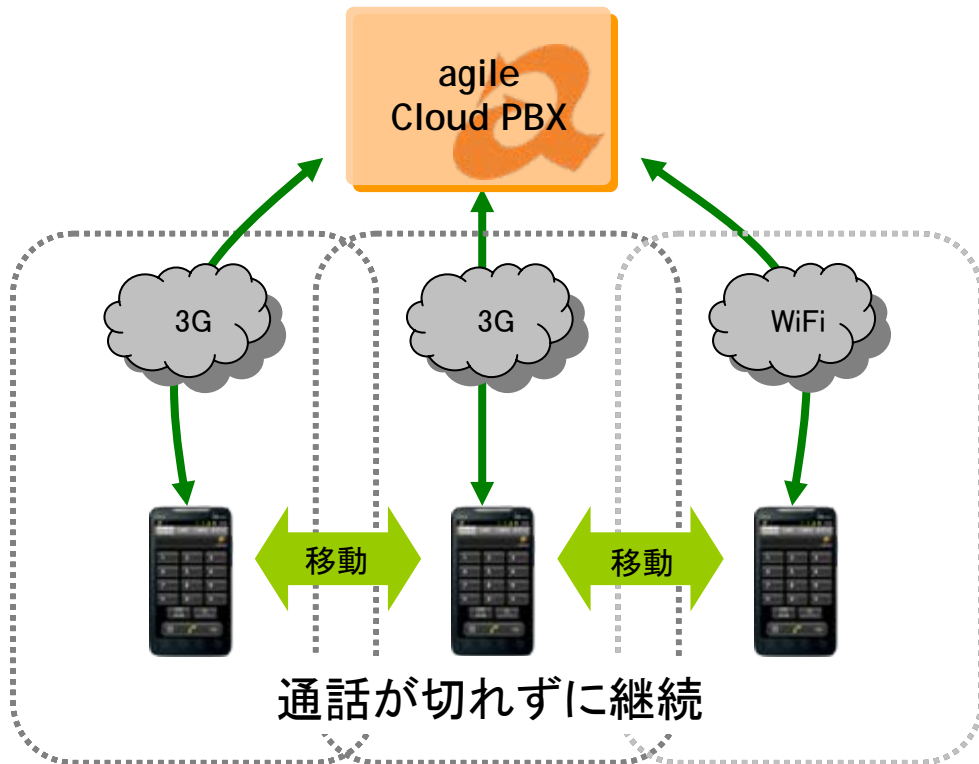


2. 3G⇔Wifiのスムーズなハンドオーバー

移動に合わせて3G⇔Wifiがスムーズにハンドオーバーで切り替わります。

通常のSIPアプリでは、WiFiスポットでの通話中にそこを離れると、通話が切断してしまうのが、通例です。agileSIP2では、屋内外にあるWiFiスポットでの通話中にそこを出ても、自動的に3Gに切り替わり、スムーズな通話続行を可能にします。3GからWifiへの切り替えもちろん同様です。

また3G基地局の間も次々にハンドオーバーしてゆきますので、移動しながらの通話がとても快適です。



お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、以下のフォームよりお問い合わせください。

<http://www.agile.ne.jp/reference/index.php>

[注1] クラウドPBX=IP電話とPBX(構内交換機)をインターネット越しにサービスとして提供します。

【アジルネットワークス株式会社について】

情報化革命の実現という経営理念の下、クラウドPBXサービス等のVoIPサービスを提供しています。電話システム、モバイル、ネットワーク等、電話、通信のコストダウン、業務効率化のコンタクトセンター、モバイル活用、電話CRM等のシステム構築、サービスの提供をし、コストダウンと業務効率化に貢献します。

社名: アジルネットワークス株式会社 (英字社名: Agile Networks, Inc.)

本社: 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-2/ハナワビル TEL: 03-6365-1505

代表取締役: 篠田 亘司 資本金: 2億6828万6200円 URL: <http://www.agile.ne.jp>

【本リリースに関するお問い合わせ】

アジルネットワークス株式会社 広報担当: 林千鶴・金沢深雪 TEL: 03-6365-1505 E-Mail: pr@agile.ne.jp